

2026年5月19日

地方創生

## カンダまちおこしが法人寄附マッチングサービス【COLORS】により支援した矢野電産株式会社の瑞浪市への寄附特集が「らせる」に掲載されました

十六フィナンシャルグループのカンダまちおこし（以下、当社といたします。）は、法人寄附マッチングサービス「COLORS（カラーズ）」を通じて寄附を行った企業の広報支援に取り組んでいます。当社が提供する「COLORS」では、各地域で発行される「地域みっちゃん生活情報誌®」に寄附実績などを掲載することができ、企業のPRや採用強化にご活用いただけます。

このたび、瑞浪市・土岐市エリアで発行される情報誌「らせる」に、矢野電産株式会社の瑞浪市への寄附に関する特集記事が掲載されましたので下記のとおりお知らせします。（記事詳細については別紙をご参照ください。）

### 記

#### 1. 掲載誌について

月刊らせる 5月号（vol. 210、4月24日（金）発行）

#### 2. 矢野電産株式会社の想い

今年で創業80周年の節目を迎える矢野電産株式会社は、長年にわたり電気設備資材の卸売を通じて地域のインフラを支えてきました。同社は2026年3月の瑞浪営業所開設を機に、企業版ふるさと納税を活用した瑞浪市への寄附を実施されました。

代表取締役社長である矢野哲也氏の「地域の子育てに役立ちたい」「若い世代に瑞浪市へ長く定住してほしい」という強い想いから実現したものであり、寄附金は学校給食センターの設備更新など「未来を育むまちづくり」に充てられています。

また、時間単位の有給休暇取得や時差出勤の導入など、子育て世代が働きやすい環境整備にも注力されており、「地域に根ざした企業として発展していきたい」という同社の姿勢が、今回の寄附の想いと深く重なっています。

#### 3. 掲載の背景

BtoB（企業間取引）を主とする同社は、「好立地に営業所を構えても、地域の方々に事業内容が伝わりにくいのではないか」という課題を抱えられておられました。そこで、新営業所開設に伴う地域へのご挨拶と自社紹介を兼ねて、今回の特集掲載をご活用いただきました。各家庭に直接届く「地域みっちゃん生活情報誌®（※）」の特性を

活かし、同社の事業内容と地域への想いを広く発信しています。

当社は、企業版ふるさと納税を単なる「寄附」ととどめず、寄附企業の地域における認知度向上や企業PR、採用広報、そして地域との関係構築につながる「戦略的な取組み」としてサポートしています。その一環として、今後も地域みっちゃく生活情報誌®を活用し、寄附企業の想いや事業内容を地域のみなさまへ広く届けていきます。

今後も法人寄附マッチングサービス「C o L o R s」を通じ、企業と地域の豊かな関係性を育むとともに、寄附企業のPR効果を最大化し、持続可能な地域づくりに貢献してまいります。

※ 地域みっちゃく生活情報誌とは

株式会社中広が全国各地で発行する、地域ごとの生活情報を届けるフリーマガジンです。各エリアの家庭へ一軒一軒配布され、地元のお店・企業・行政情報・暮らしに役立つ話題などを掲載しています。

(<https://chuco.co.jp/information-magazine/>)

■ 矢野電産株式会社×瑞浪市 贈呈式の様子は[こちら](#)

■ 法人寄附マッチングサービス【C o L o R s】については[こちら](#)

以 上

陶都・瀬戸で創業  
製造・販売から卸売へ

巻頭特集

今年3月、  
瑞浪営業所  
開設!

矢野電産株式会社は、1946年に「矢野商店」として瀬戸市で創業。「日本六古窯」のひとつに数えられ、陶磁器の一大産地である地の利を生かして、オルゴールや電気スタンド、ホットプレートなど電磁器の製造・販売を始めました。その後、絶縁性や耐候性に優れた家庭用の磁器製磚子(※)を地元メーカーから仕入れ、各地を行商。1973年に社名を「矢野電産株式会社」と改称すると、電気設備資材卸売業を主軸に、各地に拠点を広げていきました。

現代取締役社長の矢野哲也さんは大学卒業後、総合電機・住宅設備メーカーに就職。営業職として3年働いたのち、2003年に父・隆さんが当時代表取締役を務める矢野電産株式会社に入社しました。

家業に携わる23年で、従業員数は約1.5倍、売上は2倍に成長。取り扱う商品は、コンセントなどの小さなパーツから、住宅用設備機器、道路用の大型照明まで多岐にわたります。

転換期は2010年代、冷暖房設備の取り扱いを始めると売上が拡大。地球温暖化が進む未来に目を向けた戦略が功を奏しました。「夏の暑さが増すにつれて、エアコンの需要が増えます。当社がエアコンの部品を供給することで、お客様の負担を減らしたい」と矢野代表取締役社長は当時を振り返ります。

# 企業版ふるさと納税を通じて、 瑞浪市の子育てを支援

今年で創業80年を迎える矢野電産株式会社は電気設備資材の卸売を通じて、工場や医療施設などさまざまな電気設備に携わり地域のインフラを支えてきました。

3月には瑞浪営業所を開設。「地域の子育てに役立ちたい」と、企業版ふるさと納税制度を利用し、瑞浪市に寄附を行いました。

## 矢野電産株式会社

### 瑞浪営業所

矢野電産株式会社

瑞浪営業所 / 瑞浪市上平町4-85  
TEL / 0572-56-5555



創業は1946年。主な事業は電気設備資材の卸売業。現在は本社がある瀬戸市と、多治見市と瑞浪市に営業所を構えている。働きやすい職場環境整備に注力し、昨年7月に愛知県から「女性の活躍促進宣言受理証明書」を受理



### 働きやすい環境で 売上と従業員数を拡大

ひとつの建物を完成させるためには、建設や電気工事、水道工事などを多種多様な業者が関わっています。工期内に終わることが求められており、不測の事態が発生した場合にはスピーディーな対応が不可欠です。



今年3月に行われた「企業版ふるさと納税寄附目録贈呈式」

矢野電産株式会社では、商圏を各営業所から車で1時間以内限定。部品の不良・不足をはじめ、多々発生する現場変更にも柔軟に対応できる体制を整えています。営業職は電気設備工事に必要な国家資格「第二種電気工事士」を保有。専門知識を生かした予算や装置の適格な提案が、顧客からの厚い信頼を得ています。また、地域での人材雇用にも注力。自分の生まれ育った地域の電気設備施工・改修に携わることが、働き手のやりがいにつながっているといえます。



矢野電産株式会社 代表取締役社長  
矢野哲也さん

瀬戸市出身。総合電機・住宅設備メーカーに勤めたのち、2003年に矢野電産株式会社入社。2011年代表取締役社長就任。「経営者の方が施工を担当する取引先さまが多いのが弊社の特徴。経営者の方々と弊社従業員がともに現場をつくりあげていくケースが多く、『ありがとう』と声を直接いただけるのがやりがい」。

瑞浪営業所開設にもなつて矢野電産株式会社は昨年12月、十六フィナンシャルグループのカンダまちおこし株式会社「企業版ふるさと納税マッチングサービス『COLORS(カラース)』」を通じて、瑞浪市に寄附を行いました。「若い世代の方々に瑞浪市に長く住んでもらいたいという思いで、子育て支援に使っていただけた

「2つの事業所(中津川・土岐)を瑞浪営業所に集約し、拠点の人員が増えました。代わりの人がいることで、家庭の事情で遅刻したり休みをとったりしやすくなったとの声がかかるようになりました。」

### 地域の子育てを支えたいと 瑞浪市に寄附を実施

「リフトホームやリニューアル工事などでは弊社が現場に商品をお届けするケースもあり、間接的ではありますが今後は地域の方との繋がりを持たせていただくことになると思っています。少しでもお役に立てるよう、今後は人材を増やしてチーム体制を整え、社業を発展してまいります」と矢野社長は地域へメッセージを届けてくれました。

### 「地元の電気設備施工・改修に携わることが働き手のやりがい」



メーカーへの商品問い合わせや、倉庫での在庫確認、現場への発送などに対応する従業員

2005年入社  
森本さん



この仕事はさまざまな業者さんが力を合わせ成り立っています。お客様が求める商品をメーカーから取り寄せて届けるのが私たちの使命。適切な提案ができるよう、「知識の引き出し」を増やす心がけています。我が子2人は瑞浪市で生まれました。企業版ふるさと納税で地域に役立てるのうれしいです。

2023年入社  
加藤さん



時間単位で有給休暇が取れるなど、休みを取りやすい職場環境です。2つの事業所が統合してできた瑞浪営業所は人員が増えて、急に休まなくてはならないときも代わりのメンバーがいてくれるので心強いです。瑞浪市は人口が減っているのに、弊社の取り組みが子育てに活用されるのはとてもいいことだと思います。